| 学校番号 | 3004 |
|---|---|

# 令和２年度　地理歴史科

| 教科 | 地理歴史 | 科目 | 世界史Ａ | 単位数 | ２単位 | 年次 | ２年次 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 使用教科書 | 世界史Ａ新訂版　（実教出版） | | | | | | |
| 副教材等 | 地歴高等地図（帝国書院） | | | | | | |

## １　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・歴史という時間軸を感じる。
・歴史的事象に「なぜ」の視点をもつ。
・歴史を背景とした世界の国々の諸事情を踏まえ、現在の日本のあり方を考える。

## ２　学習の到達目標

・近現代史を中心として、古代からの世界の歴史について理解する。
・諸資料に基づき、現代の諸課題を歴史的観点から考える。

## ３　学習評価(評価規準と評価方法)

| 観点 | a:関心・意欲・態度 | b:思考・判断・表現 | c:資料活用の技能 | d:知識・理解 |
|---|---|---|---|---|
| 観点の趣旨 | ・近現代史を中心とする世界の歴史に関心を高め、歴史上の諸課題について意欲的に追求しているか。 | ・近現代史を中心とする世界の諸課題を見出し、世界史的視野にたって考察し、公正に判断しているか。<br>・その諸課題の考察、判断する過程や結論を適切に表現しているか。 | ・近現代史を中心とする世界の歴史についての諸資料を収集し、有用な情報を適切に選択し、正確に読み取ることができるか。 | ・近現代史を中心とする世界の歴史についての基本的な知識を身につけているか。 |
| 評価方法 | ・授業プリント<br>・授業ノート | ・定期考査<br>・授業プリント<br>・授業ノート | ・定期考査<br>・授業プリント<br>・授業ノート | ・定期考査 |

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

| 学期 | 単元名 | 学習内容 | 主な評価の観点 | | | | 単元(題材)の評価規準 | 評価方法 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | a | b | c | d | | |
| 1学期 | 第1部　ユーラシアの諸文明と交流 | ・序章;文明のはじまり<br>・第1章;ユーラシア諸文明の特質<br>・第1節;西アジア世界・イスラーム世界<br>・第2節;ヨーロッパ世界<br>・第3節;南アジア・東南アジア世界<br>・第4節;東アジア世界・内陸アジア世界<br>第2章;ユーラシアの交流<br>・第1節;陸と海の交流<br>・第2節;ヨーロッパ商業権とモンゴル帝国 | ○<br>○<br><br><br><br><br><br>○ | <br>○<br><br><br><br><br><br>○ | ○<br>○<br><br><br><br><br><br>○ | ○<br>○<br><br><br><br><br><br>○ | a:自然環境と歴史の関わりについて考える。<br>b:西アジア諸文明について多面的、多角的に考える。<br>c:必要な諸資料を読み取り、理解する。<br>d:ヨーロッパ文明の源流と特質について理解し、また、アジア諸地域の社会、文化の特質や、ヨーロッパとの関わりについて理解しその知識を身につけている。 | 定期考査<br>授業プリント<br>授業ノート<br>授業姿勢<br>発問 |
| | 第2部　むすびつく世界と日本 | ・第3章;一体化に向かう世界<br>・第1節;世界の一体化の第一歩<br>・第2節;ルネサンスと宗教改革<br>・第3節;ヨーロッパの主権国家体制 | ○ | ○ | ○ | ○ | a:大航海時代以降の世界の諸地域の変動を意欲的に追及している。<br>b: 大航海時代の諸国の政治・経済の変化やルネサンスの活動、宗教改革の展開について考察し、その過程や結果を適切に表現する。<br>c: 必要な諸資料を読み取り、理解する。<br>d:ルネサンス時代の科学や文芸活動、宗教改革、17～18世紀のヨーロッパ諸国における絶対主義の特徴や主権国家の成立に関する資料を読み取り、その知識を身につけている。 | 定期考査<br>授業プリント<br>授業ノート<br>授業姿勢<br>発問 |

| | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 2学期 | | ・第４章;アジアの繁栄と世界<br>・第１節;アジアの繁栄<br>・第２節;世界経済の形成 | ○ | ○ | ○ | ○ | a：14～18 世紀の中国とイスラーム諸国家の社会や政治体制を意欲的に追求している。<br>b：大西洋交易圏形成について考察し、判断した過程や結果を適切に表現する。<br>c：必要な諸資料を読み取り、理解する。<br>d；14～18 世紀のアジア諸国の発展や、世界経済体制の成立に関する知識を身につけている。 | 定期考査<br>授業プリント<br>授業ノート<br>授業姿勢<br>発問 |
| | 第3部　近代のヨーロッパ・アメリカと世界の変動 | ・第５章;19 世紀の世界の一体化と日本<br>・第１節;産業革命と工業化社会の成立<br>・第２節;アメリカ独立戦争<br>・第３節;フランス革命とナポレオン戦争<br>・第４節;ウィーン体制とその崩壊<br>・第５節;ヨーロッパ国民国家の発展<br>・第６節;アジア・アフリカ・ラテンアメリカの変動<br>・第７節;東アジアの変容と日本の近代化 | ○ | ○ | ○ | ○ | a；イギリス産業革命、アメリカ独立、フランス革命の背景や展開を意欲的に追及している。<br>b；イギリス産業革命、アメリカ独立、フランス革命の社会的影響や社会の変化について考察し、判断した過程や結果を適切に表現する。<br>c：必要な諸資料を読み取り、理解する。<br>d；ヨーロッパ世界に拡大した自由主義、資本主義経済の発展からアジア・アフリカ諸地域への帝国主義政策の特質について考察し、その知識を身につけている。 | |
| | 第4部　地球社会と日本 | ・第６章;二つの世界大戦<br>・第１節;激変する社会と帝国主義 | ○ | ○ | ○ | ○ | | |

| | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 3学期 | 第4部 地球社会と日本 | ・第6章;二つの世界大戦<br>・第2節;第一次世界大戦とロシア革命<br>・第3節;戦間期のヨーロッパとアメリカ<br>・第4節;民族運動の高まり<br>・第5節;第二次世界大戦 | ○ | ○ | ○ | ○ | a:２０世紀前半から現代の国際関係について関心を持ち、意欲的に追求しようとする。<br>b:新しい勢力の台頭による国際関係の変容の諸問題を多面的・多角的に考え、その過程や結果を適切に表現する。<br>c:必要な諸資料を読み取り、理解する。<br>d:２０世紀前半から現代に関する知識を身につけている。 | 定期考査<br>授業プリント<br>授業ノート<br>授業姿勢<br>発問 |
| | | ・第7章;第二次世界大戦後の世界と日本<br>・第1節;冷たい戦争<br>・第2節;アジア・アフリカ諸国のい独立と混乱<br>・第3節;多極化の進展と冷戦体制の崩壊 | ○ | ○ | ○ | ○ | | |
| | | ・第8章;現代の世界<br>・第1節;統合へ向かうヨーロッパ<br>・第2節;アメリカ・ラテンアメリカの動向<br>・第3節;西アジア・アフリカの混迷<br>・第4節;南アジア・東南アジア・オセアニアの動き<br>・第5節;大国化する中国と東アジアの変動 | ○ | ○ | ○ | ○ | | |
| | | ・終章;持続可能な世界をめざして<br>・第1節;巨大技術と人間<br>・第2節;人が人らしく生きるために<br>・第3節;環境問題と私たち<br>・第4節;なお続く戦争 | ○ | | ○ | | | |

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　b:思考・判断・表現
c:資料活用の技能　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。